



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.14
令和2年10月26日
文責：校長 福島

よい子が育つ春日校



このタイトルは時々使わせてもらいますが、校歌 1 番の歌詞です。「よい子が育っている」ことを実感するうれしい話がありました。先週木曜に授業参観した通級の先生の話です。

「5年生の教室を参観していると、6年生が教室異動で廊下を通りました。たくさんの保護者が参観していたので、自分たちで判断して頭を低くして腰をかがめ、邪魔にならないように素早く移動していきました。その場に担任の先生がいなくても自分たちでそういう行動ができるのを見て感動しました。しばらくすると6年生の別の学級が通りましたが、さっきの学級と同じように腰をかがめて通って行きました。またまた感動しました。」

「5年生の教室では授業が終わり、担任の先生が教室を一時離れました。子供たちは休憩時間にリラックスして友達同士で楽しそうに話をしていました。隣の学級でまだ授業がやっていることに気づいた1人の児童が『みんな静かにしよう。』と声をかけました。すると教室はスーッと静かになりました。いい学級、すてきな子供たちです。校長先生にこのことを伝えたくて…」

横断歩道を渡って校長室まで話しに来てくれました。私もとてもうれしくなりました。6年生の姿は、5年半かけてそれぞれの学年でいねいに育ててきた成果だと思います。6年生の教室では「みんな静かにしよう。」「ありがとう。」「〇〇の時間だよ。みんな準備しよう。」そんな言葉が子供たちから発せられています。きっとそんな姿が5年生にも伝わっているのだと思います。

春日小学校には、6年生を頂点とし、1つ上の学年を見習ってよりよく伸びていこうとするすばらしい学校文化があります。職員一丸となって半年後に立派に進級した子供の姿をイメージし、今の学年でやるべきことにしっかり取り組んでいます。